



所蔵資料紹介 ～むすびわざ館企画展関連資料～

いよいよ始まりました、むすびわざ館企画展「いけばなを伝える」。歴代の家元関係の資料も多数展示される予定なので、今回は40世家元・専定を中心に、知っておくともっと展示が楽しく見られる関連資料を紹介します。

専定は天明6(1786)年、18歳の時に家元を継承しました。生花の内容を整備し、その普及に一石を投じたと評価されています。初の生花図集『百花式』、続編の『後百花式』、立花の図集としては約百年ぶりとなる『新刻瓶花容導集』、真・副・体の構成が整った『插花百規』などを刊行しました。「生花の百の規範」という意味の『插花百規』序文では、当時の技巧に走る傾向を戒め、池坊の花の規矩を示す、と記され、池坊の花形のあるべき姿を取り戻したいという心情が伝わります。むすびわざ館では『百花式』『插花百規』からの花形の写しが掲載された『根本生花百華式の写』、『插花百規』が展示予定です。

また、伝書についても整備をしています。従来からの「生花巻」に加えて「廻生巻」「草木集」「定式巻」を定め、これは現在の「中伝」「皆伝」として伝えられています。江戸時代に定められた規範が現在まで受け継がれているのは、池坊の歴史の重みを感じますね。「定式巻」(写真1)は、厚みがあり、キラキラした光沢のあるクリーム色の、質の良い紙が用いられています。署名の下の花押(サイン)をよく見てください。むすびわざ館では専定の弟で41世家元である専明の「入門折紙」が展示予定ですが、二人の花押はよく似ています。ぜひ注目してみてくださいね。「定式巻」「生花巻」は翻刻もされていますので、見比べながら読むと専定の文字が解読できて楽しいですよ。後日図書館にて展示予定なので楽しみに。

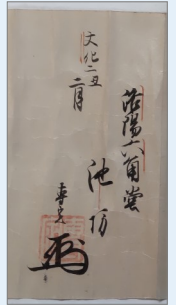


写真1・定式巻



さらに、専定は岸派の祖・岸駒に師事し絵画も嗜みました。もちろんお花の絵もあるのですが、迫力ある龍虎図(左)のほか、菊と雀(右)のようなかわいらしい絵まで様々です。むすびわざ館でも展示されているのですが、数ある作品から学芸員の方に選ばれたのはどのような絵でしょうか？今回は辰年ということで特別に図書館でも龍の軸を展示しますが、図書館では龍、むすびわざ館では…？という画風の幅広さにも注目です。



参考文献

- ・『插花百規を愉しむ 乾』『// 坤』日本華道社,2020年
- ・『根本生花百花式』『根本生花後百花式』(復刻版)池坊中央研究所編,華道家元池坊総務所,1982年
- ・『専定代瓶花図』(「いけばな美術名作集 第5巻」)池坊専永監修,日本華道社,2006年
- ・『生花資料集成 研究注解篇 下巻』生花資料集成刊行会編,茶華企画,2001年
- ・『池坊花伝書 中級』『// 上級』池坊専永,華道家元池坊総務所,2020年
- ・『いけばな池坊歴史読本』日本華道社編集部編,日本華道社,2016年

図書館からのお知らせ ～むすびわざ館企画展「いけばなを伝える」開催中～

上記でもご紹介しました、京都産業大学ギャラリー「むすびわざ館」にて、当館および本学所蔵の貴重資料が展示されています。5/19(日)には1回目の本学教員の講演会もありますので、ぜひ足を運んで下さい。デモンストレーションもあるようで、楽しみです。入場無料、6月29日まで開催です。詳細はHP(右記QRコード参照)、または図書館にて配布中のチラシをご確認ください。



貴重書ブックリストのご案内



タイトル	貴重書
作成者	図書館
作成日	2024/02/27
登録数	211
コメント	図書館で所蔵している、主に江戸時代末期までの古文書類です(データ更新中)。貸出はできませんが、図書館内で閲覧できます(資料によってはお時間をいただくものもあります)。代々の家元花伝書や花形図など多数所蔵しています。興味のある方はお問い合わせください。

むすびわざ館および図書館内での展示でいくつかご紹介しておりますが、実は当館では古くて貴重な資料を多数所蔵しています。せっかく所蔵しているのにあまり知られていない、活用されないのはもったいない、ということで、貴重書のタイトルが確認できるブックリストについてご紹介します。

「池坊短期大学」→「施設・設備」→洗心館の下に「図書館」があり、「蔵書検索」をクリックすると図書館のトップページ(<https://www.lib-eye.net/ikenobo-c/>)が開きます。左側の「ブックリスト」をクリックすると「貴重書」というタイトルで貴重書のリストが公開されています。データはまだ整備中ですが、「授業で聞いたことがあるから見てみたい」「どんなものか知りたい」というものがありましたらぜひご来館ください。貸出はできませんが、図書館内での閲覧は可能です。

花伝書や浮世絵など、博物館や美術館に行かないと中々見られない資料が、池坊の学生である間は図書館で見ることが出来ます。在学中にぜひたくさん見ていってくださいね。



博物館・美術館関係者の方で、展示または調査をしたい、というものがありましたら当館までご連絡下さい。TEL:075-351-8615